



議会だより



令和6年9月定例会

あらまし・決算状況	2
予算決算審査特別委員会・決算の意見	4
予算決算審査特別委員会・議案審議	6
議長杯結果・一般質問目次	9
一般質問 9人が登壇	10
委員会レポート	20
わたしたちの町（猪苗代高等学校）	22

統合初となる
野口英世体育祭



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



マチイロ



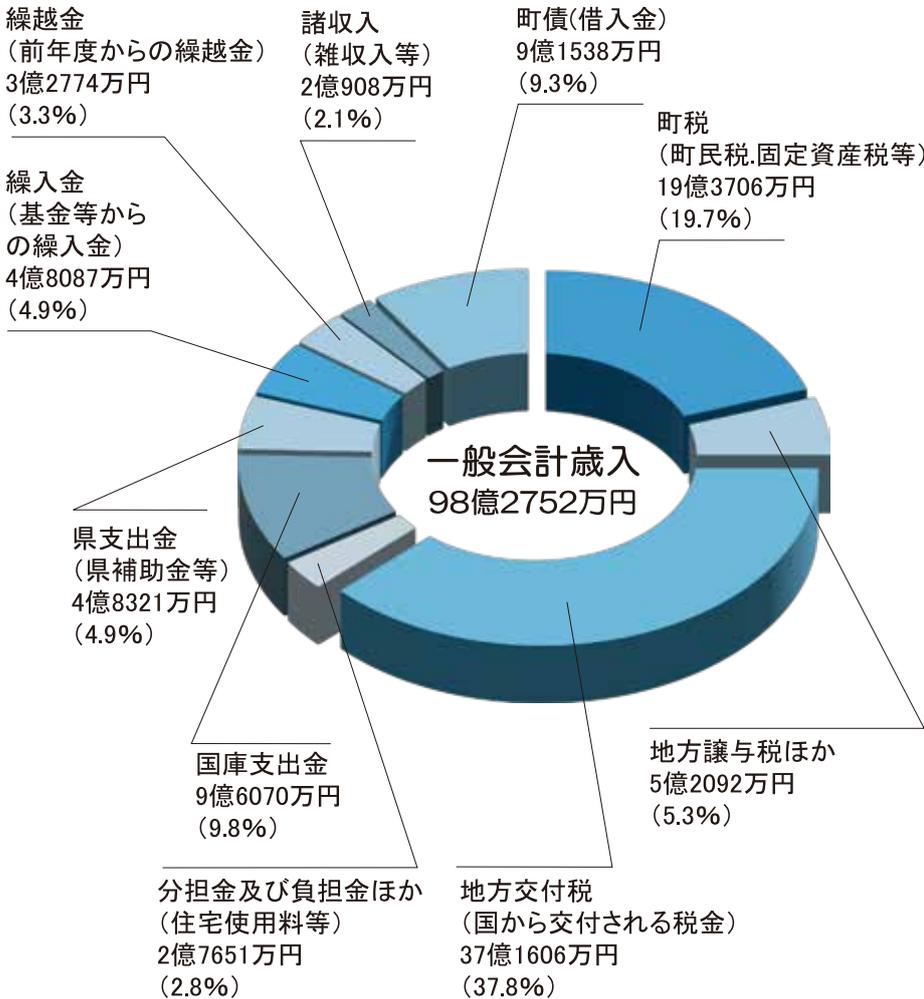
Google Play

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地
<https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

あらまし

9月定例会は、9月3日から13日まで開催されました。
町長から提出された議案は、専決処分の報告2件、令和5年度決算認定4件、6年度補正予算11件、条例の一部改正6件、過疎地域持続的発展計画の一部変更、福島県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更、人事案件5件、であり、すべて原案のとおり、認定・可決・同意しました。
一般質問は9人の議員により行われました。

年度 決算を認定



令和5年度 会計別決算額

会計		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		98億2752万円	94億747万円
特別会計	国民健康保険	14億8614万円	14億7539万円
	後期高齢者医療	1億9825万円	1億9723万円
	介護保険	18億7853万円	18億3079万円
病院会計	収益的収支	9421万円	9433万円
	資本的収支	0	0
水道会計	収益的収支	3億6108万円	3億3719万円
	資本的収支	6102万円	2億6037万円
下水道会計	収益的収支	6億2830万円	6億3894万円
	資本的収支	2億6602万円	4億5209万円

※単位未満の端数切り捨て。
※財産区特別会計の決算額については省略。



9月定例会

令和5

町民一人当たり
742,324 円を
使いました
(前年比 23,803 円増)

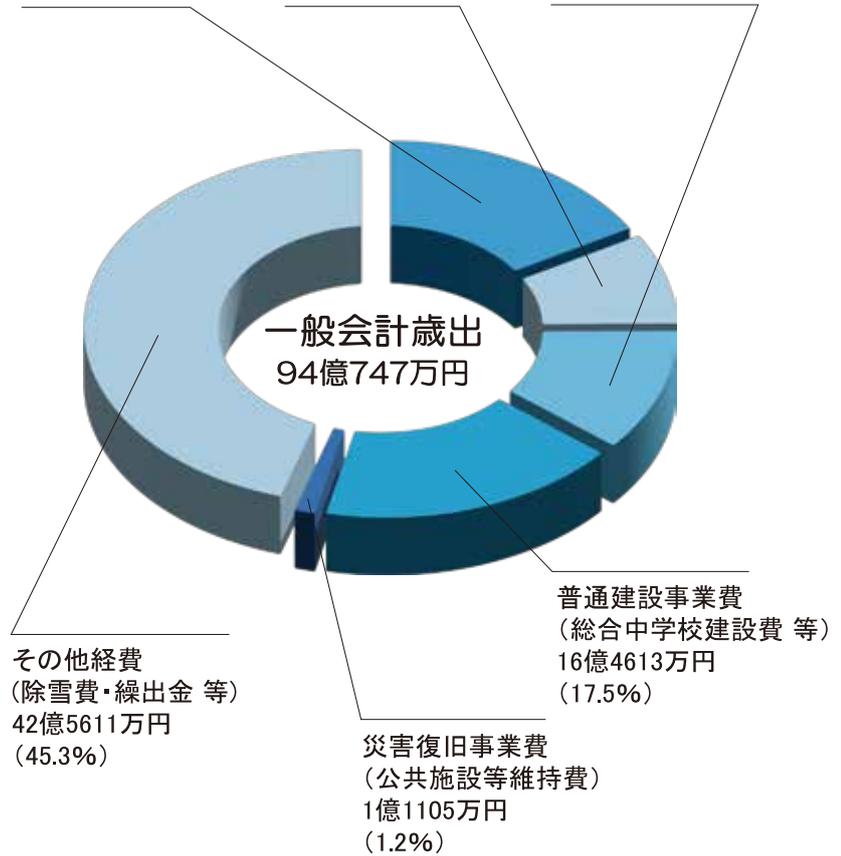
議会費	8,037 円
総務費	88,232 円
民生費	123,560 円
衛生費	44,323 円
農林水産業費	43,826 円
商工費	43,331 円
土木費	98,814 円
消防費	35,700 円
教育費	165,260 円
災害復旧費	8,763 円
公債費	82,478 円

※令和6年3月末人口12,673人で算定

人件費
(報酬給料等)
15億7051万円
(16.6%)

扶助費
(医療費助成等)
7億7843万円
(8.3%)

公債費(借入返済)
10億4525万円
(11.1%)



財政力指数とは？

1に近く1を超えるほど財源に余裕があるとされている。

経常収支比率とは？

財政構造の弾力性を判定する基準で、75%以下が望ましいとされている。

実質公債費比率とは？

歳入に対する公債費の占める割合で、25%で早期健全化に該当するとされている。

将来負担比率とは？

一般会計の負債が一般会計の標準的な年間収入の何年分であるかを表す割合で、350%で早期健全化に該当するとされている。

令和5年度末 町債 残高

一般会計85億8363万円 (前年比 1億236万円減)

※町債→大きな事業をするために借り入れるお金のこと。

区分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
財政力指数	0.370	0.373	0.380
経常収支比率	91.5	88.6	85.0
実質公債費比率	9.7	10.0	10.3
将来負担比率	28.6	27.7	35.6

議長を除く13人の委員で、令和5年度決算を4件、令和6年度補正予算11件を審査しました。

令和5年度決算

【主な質疑】

一般会計

歳入

《町税》

問 町民税が前年比2.9%と増加している。その理由は。

答 令和4年所得は、コロナ禍の終息で、給与所得が約6千万円の増、年金受給者の増加で約4千万円の増。農業所得は米価が上昇したため、約1億4千万円の増、これらにより前年比2.4%の増加となった。

問 固定資産税について前年比1.5%増の内訳は。

答 増収は、課税標準額で新築住宅軽減措置が外れた家屋などで約2億1千万の増。償却資産の太陽光発電施設の新規整備などで約5億6千万円の増、前年度比は1.49%の増である。

歳出

《総務費》

問 財政管理費での残額発生理由は。

答 不用額は、ふるさと納税で、サイト利用料や寄附があった場合の必要経費だった。

問 財政調整基金の規模は適正か、教育施設設備等基金の今後の運用は。

答 財政調整基金の金額は財政規模の1割であり、適正は6億円程度が適正であると考え。教育施設整備等基金は、統合終了後、体育館の改修などが計画されているので財源として充てる。



ましの駅まるしめ

問 土地開発基金の運用状況は。

答 猪苗代リゾートスキー場の公共用地、町道猪苗代中央線の財産用地について、令和5年度に一般会計が土地の買い取りを基金から行ったために、基金保有の土地減少、現金増加となった。

問 選挙執行費の執行残は。

答 候補者からの申請を審査し限度額まで支出するが、予算措置の候補者と立候補者の違いにより残額が発生し、2月選挙執行のため補正予算対応ができなかった。

問 猪苗代駅・裏磐梯高原駅間路線バスは新事業者での変更は。

答 北塩原村と協議し金額を決定。定額300万を、限度額を設けて負担金とした。

問 まちの駅運営委託の成果は。

答 昨年の利用者は5243人。空き店舗を活用し街中にぎわわせる目的で設置している。

問 地域おこし活動事業費、有害鳥獣駆除の2名分は状況報告書には1名とは。

答 有害鳥獣駆除の地域おこし協力隊が1名、もう1名は緑の村振興と有害鳥獣の兼務である。

《民生費》

問 非課税世帯臨時特別給付金と非課税世帯物価高騰対応重点支援給付金の不用額は。

答 臨時給付金一人3万円の交付額の補正を行った。補正対象世帯数は1450件、決算時給付件数は1112件であった。物価高騰給付金は12月補正で1件7万円の交付額で、対象世帯は1200件で1254件の給付件数であった。

問 出産手当39名の内訳は。

答 第一子5万円が22名、第二子7万円が8名、第三子10万円が5名、第四子以降20万円が4名である。

令和5年度 一般会計決算等の意見（抜粋）

【審査の対象】

令和5年度の一般会計及び特別会計（7会計）の歳入歳出決算と、公営企業会計である病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算について審査した。

審査事項の主な内容とその意見については、以下のとおりである。

【決算の規模】

一般会計が前年度比で歳入1.5%、歳出0.6%それぞれ増加、特別会計では前年度比で歳入4.2%、歳出3.9%それぞれ減少した。

また、病院事業会計は、事業収益が前年度比31.4%の増、事業費用が前年度比31.6%の増となり、水道事業会計は、事業収益が前年度比2.1%増、事業費用が前年度比3.5%の増となり、下水道事業会計は、事業収益が前年度比3.6%の減、事業費用が前年度比4.9%の減となった。

【町 債】

前年度末と比べて一般会計が1億235万7千円の減となった。公共事業債をはじめとした各種事業債で減少したが、災害復旧事業債、一般単独事業債、過疎対策事業債が増加となった。

【基 金】

財政調整基金で資源不足への措置として端数調整のうえ、9089万円を取り崩し、教育施設整備等基金で統合小学校及び統合中学校整備事業へ

財源措置として3億8878万1千円を取り崩した。この結果、前年度末に比べ全体で4億6739万1千円の減となった。

【意 見】

審査に付された決算書及び報告書はいずれも関係法令等に基づいて作成されており、会計経理は正確である。また、予算の執行についても有効適正になされているものと認められた。一般会計では歳入、歳出ともに前年度を上回っている。その大きな理由をそれぞれ一つ挙げると、歳入は自主財源である繰入金が大幅に増加したことであり、これは計画的に積み立てた教育施設整備等基金の取り崩しによるものである。歳出は教育費の統合小学校及び統合中学校整備事業に関する経費が増加したことであり、これは財源を基に整備計画どおり実施できたことにある。

また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政健全化審査については、実質公債費比率、将来負担比率ともこの基準において本町は「健全段階」に位置付けられる。

今後も一層の財政の健全化に努めながら、町民福祉の増進に向けた取組みがなされるよう望み、審査の意見とする。

監査委員 佐 賀 要 一
監査委員 佐 藤 英一郎

《商工費》

問 猪苗代町事業者支援電子クーポン発行管理運営業務委託は。

答 1回目はコロナ感染症による消費の落ち込みが出ている時。また、2回目は少ない降雪への対策として、それぞれの目的に発行し、活用して対策できたものである。中ノ沢温泉、表磐梯の宿泊施設等や小売店、レストラン等で幅広く使われた。

《土木費》

問 除雪費の委託業者に対する待機料、また、町の臨時雇用の状況は。

答 8社の業者を除雪委託し、待機料は県の内容を準用して支払いしている。また、直接雇用オペレーターは、会計年度任用職員として、冬シーズン雇用である。

問 空き家対策費の補助金、特定空き家の認定は。

答 特定空き家ではないが、猪苗代町空き家除去推進事業補助金で定める福島県の内容で合致して県の補助金を受けるものである。

《教育費》

問 小学校管理費需要費の執行率が低くなっている要因は。

答 各小学校の暖房用電気料が冬期間の見通しが難しく、暖冬になり結果として不用品が発生した。

問 保健体育費の負担金補助金及び交付金の不用額は。

答 スキーインカレの中止及び県総合体育スキー大会の雪不足による会場変更のため不用額となった。

問 保健体育費ホストタウン事業費の内容は。

答 ガーナ共和国との協議やその報告会などの旅費等である。



ガーナ共和国との交流会

令和6年度補正予算

一般会計

歳入

《町税》

問 個人町民税が増額の要因は。

答 定額減税が少なく、給与所得等の伸長率が上回った。いち個人で所得割額が増加したことが要因。

《寄附金》

問 地方交付税の増額は。

答 小学校費のスクールバス、会計年度任用職員の人件費や管理費の増加による。

問 企業版ふるさと納税寄附金の内容は。

答 猪苗代町まちひとしごと創生推進計画の「道の駅展開プロジェクト」に賛同しての寄附。

《諸収入》

問 「会津磐梯山・猪苗代湖合宿の郷を創る協議会」負担金返還金は。

答 類似の協議会があり、同協議会は解散したため。

問 新型コロナウイルス定期接種ワクチン確保事業の助成金が雑入とは。

答 基金管理団体である「新葉・未承認薬等研究開発支援センター」から交付されたため。

歳出

《総務費》

問 庁舎管理費のヒートポンプの業務委託、保守点検は。

答 専門的な知識に加え、機械の不具合など熟知のため、漏水も同じ業者に委託する予定。

《民生費》

問 児童館のコウモリ防除業務は。

答 侵入防止の措置と人体には害がない忌避スプレーを噴霧する。



コウモリ防除業務を行った児童館

問 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付の制度は。

答 令和5年度の均等割のみ世帯と子供の加算分は、給付済である。他は9月まで受付を10月に給付する予定。

問 障害者介護給付費の返還分があるのは。

答 国と県からの交付金を返還するもの。国の交付の決定は時期が早いいため、毎年返還金が生じている。

《衛生費》

問 環境衛生費水環境保全対策費、猪苗代湖環境保全推進連絡会への追加負担金とは。

答 ラムサール条約の登録に向けた登録票を作成するための費用である。

問 予防費の返還金は。

答 コロナワクチン接種費用が示されたため、差額を返還するもの。

問 市町村先駆的健康づくり実施支援事業とは。

答 糖尿病の発症予防や重症化予防のため、日本生命と共同で健康セミナーや血糖値のモニタリングを行う。対象者は40名。

問 堆肥施設機器の導入は。

答 生ごみ回収の拡大をしたいと考えている。新たな機器導入を行う調査をする。

《農林水産費》

問 山潟農村公園の遊具の撤去は。

答 回転ブランコと複合滑り台を撤去後、整地するもの。

問 農村環境改善センター管理費のガス警報器7台交換とは。

答 法令的には任意の設置であるが、管理者側で安全対策のために設置している。

《商工費》

問 達沢不動滝の遊歩道整備工事及び公衆トイレ解体工事は。

答 遊歩道整備は、林野庁が危険倒木の撤去を行った。町は仮置きされている倒木や土砂の撤去を行う。国有林野契約による管理区分で行う。公衆トイレ解体工事は、アスベスト等のチェックが必要なため、追加費用を計上した。

《土木費》

問 社会資本整備総合交付金事業費を使用した町道五百苅線流雪溝整備工事は5年できる予定が延びているのは。

答 一般財源、補助金交付の状況はとてども厳しい状況ではあるが、財源の確保をしながら事業実施をしていきたいと考えている。

議案の審議

「令和6年度猪苗代町一般会計補正予算(第2号)」

賛成討論

【安齋浩明】

達沢不動滝遊歩道に係る予算については町民の皆さんなどが心待ちにしているところである。補正予算を成立させ、紅葉の時期に間に合うように早急に工事を進め通行を再開すべきである。



10月より通行可能となった達沢不動滝

反対討論

【五十嵐ミエ子】

政府は現行の健康保険証を今年12月に廃止し、マイナンバーカードと一体化したマイナ保険証にする方針であるが、どの世論調査も延期・中止が7割を超え、多くのメディアが中止や見直しを主張している。健康保険証を廃止することは、大きな問題があることから、これに反対する。

「猪苗代町国民健康保険条例の一部を改正する条例」

反対討論

【五十嵐ミエ子】

利用者負担増を強行すれば、町内の移住・定住、そして農村地域への移住・定住の流れに逆行し、農家や中小企業をさらに厳しい環境にするだけであり人口減少対策に逆行することになる。今、水道・下水道料金の値上げをすべきでない。

「猪苗代町水道事業条例の一部を改正する条例」

「猪苗代町下水道事業条例の一部を改正する条例」

【主な質疑】

問 今回の値上げをすることで、あと何年くらい値上げをしないのか。

答 使用料で賄う状況が未だできていない。施設等の更新が徐々に必要となってくるので、3年ごとの見直しをしていくなかで検討が必要。

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	結果
	長友海夢	山内浩二	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤英一郎	長澤操	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	関沢和人	安齋浩明	後藤公男	
令和6年度猪苗代町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	可決
令和6年度猪苗代町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	可決
令和6年度猪苗代町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	可決
猪苗代町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	可決
猪苗代町水道事業条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	可決
猪苗代町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	可決



コンテナを利用した道の駅での野菜販売

問 道の駅管理事業費、高機能、高付加価値コンテナ活用社会実験事業とは。

答 お風呂とシェルトークンテナとして電源などの基になるコンテナ。多目的コンテナの実証実験として緑小学校に移動する実験を行った。

あらし 決算状況
 予算決算審査特別委員会
 議案審議
 人事案件・各議長杯の結果
 一般質問
 委員会レポート

猪苗代町教育委員会委員の同意

「猪苗代町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」

佐藤信一氏を適任と認め、全会一致で同意しました。任期は前任者の残任期間である令和8年9月30日。



佐藤 信一 氏
(西久保)

猪苗代町教育委員会委員の同意

「猪苗代町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」

楠恭信氏を適任と認め、全会一致で同意しました。任期は令和10年9月30日。



楠 恭信 氏
(三城渦)

猪苗代町固定資産評価審査委員の同意

「猪苗代町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて」

大島善一氏、小檜山ナミ子氏、関和清智氏を適任と認め、全会一致で同意しました。任期は令和9年9月30日。



大島善一 氏
(八千代)



小檜山ナミ子 氏
(島田)



関和清智 氏
(釜井)

請願・陳情の手続き

どうやって出すの？

請願・陳情書はいつでも提出できます。

日本語で

- 1 提出年月日
 - 2 請願者・陳情者の住所
 - 3 請願者・陳情者の氏名（法人の場合は「名称」「代表者氏名」）
 - 4 請願者・陳情者の電話番号
 - 5 紹介議員名（請願のみ）
 - 6 請願・陳情の趣旨を記載し、議長宛に提出。
- ※必要に応じて現場の案内図、現場写真、意見書（案）などを添付

どのように取り扱われるの？

原則として、左記のとおり取り扱われます。

- 1 定例会で審議されます。必要がある場合は、請願者・陳情者立ち合いのうえ現地調査を行います。
- 2 定例会は3、6、9、12月に開催され、第1火曜日に開会予定です。開会日は議会日よりや広報猪苗代、ホームページでお知らせします。
- 3 開会中に受理した請願・陳情は、緊急のものを除いて、次回の定例会で審議されます。

請願書・
陳情書の記載例



一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

渡辺 真一郎⑩
人口の減少と町の未来

渡部 一登⑪
猪苗代高校の全国募集

安齋 浩明⑫
農業の振興

長友 海夢⑬
8月7日に発生した豪雨災害

星野 あけみ⑭
防災・減災

五十嵐 ミエ子⑮
ごみ減量事業

関沢 和人⑯
観光振興対策

山内 浩二⑰
医療費負担の軽減

瀧田 勝昭⑱
地域課題とその解決

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をただすこと。

ユーチューブ

「YouTube」配信中！

猪苗代町議会は、町のホームページでの録画映像配信に加え、スマートフォン等携帯端末での閲覧ができるよう、YouTubeによる配信をしています。次ページからのQRコードをご利用ください。

Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。

※この映像は猪苗代町議会の公式記録ではありません。

議長杯グランド・ゴルフ大会

8月21日、晴天の中、37名が参加し開催されました。結果は次のとおりです。(敬称略)

【男子の部】1位 服部恒夫、2位 小林信孝、3位 村澤豊、4位 新明俊廣、5位 渡部良則

【女子の部】1位 渡部久實子、2位 延川美枝子、3位 櫻田モト、4位 芥川京子、5位 服部みつ江



議長杯ソフトボール大会

9月8日、町ソフトボール協会主催による議長杯は、残暑厳しいなか、9チームによる熱戦がくりひろげられました。

決勝戦では、「NIGHT FIGHTERS」が「Hボンバー」を5対1で破り、優勝となりました。



議長杯ゲートボール大会

9月27日、秋晴れの中、4チームが参加し開催されました。

優勝は「鈴木英美チーム」
準優勝は「宇南山一栄チーム」です。





わたなべ しんいちろう
渡辺 真一郎

質問者の動画
が見られます



Q. 町の人口一万人割れはいつ
A. 9年後となる可能性あり

【質問】人口1万人を割った町の運営をどのようにするか対策を準備しなければならぬ時期がきているのでは。

【企画財務課長】行政の在り方が同じでは継続できない可能性がある。公共施設、道路などの維持管理、事務の進め方、職員数の数や配置について改革が必要である。

【質問】働く人が大きく減少する。インフラの維持管理は。

【企画財務課長】官でできない部分は民間に外注したり、必要な資格取得のための予算を町で出すということも考えられる。そのため財源確保のため、町を訪れる人を確保し、町の収入につなげたい。

Q. 入学者募集要項の内容は
A. 定員40名、普通科の予定

【質問】猪苗代高校の生徒全国公募の経緯は。

【教育総務課長】県の県立高校改革計画で猪苗代高校は地域協働推進校に指定され、今後も地域創世の核として人づくりを担う。学区内や隣接区からの入学者の増加が見込めないため、全国公募より入学者の増加を目指すこととした。

【質問】町としての協力体制は。

【教育総務課長】県外からの入学者に町長が身元引受人として下宿等の提供支援をする。高校の活性化に資する活動、地域探究授業、部活動への支援を検討している。

Q. ゴミの減量は目標通りか
A. さらに減量化が必要である

【質問】今までの町のゴミ減量化の努力の経過は。

【町民生活課長】生ごみの回収と優良堆肥製造施設への搬入による燃やせるゴミの減量、資源物の回収の細分化。イベント回収事業、集団資源回収事業への奨励金交付などを行った。

【質問】分別がきちんとされず、入れてはいけないものを混ぜて出したりして分別意識の低い人がかなりいるのでは。

【町民生活課長】生ゴミで出す地域なのに燃えるゴミで出す場合が多い。分別と水切り、堆肥化の推進をする。

【質問】消滅型生ゴミ処理機の普及推進の考えは。

【町民生活課長】冬季になかなか消滅しないため、器具の改良や他市町村の動向により普及推進を考える。



優良堆肥製造施設



わたなべ 渡部 かずと 一登

質問者の動画が見られます



Q. 全国募集の予算規模はどの程度か
A. 2名程度の予算を想定している

【質問】猪苗代高校の全国募集はどのような計画なのか。

【教育総務課長】地域探究学習やスキー競技に積極的に取り組む生徒を募集したいと考えている。10月上旬に募集要項をホームページに掲載し、町と猪苗代高校で発表し、広く公募したい。

【質問】町では下宿の支援等を検討されているが、具体的な内容は。

【教育総務課長】町内の宿泊施設に下宿する際の家賃補助と具体的な保証人の確保を考えている。また対象者は県内においても、学区外、隣接区以外であれば対象になると考えている。

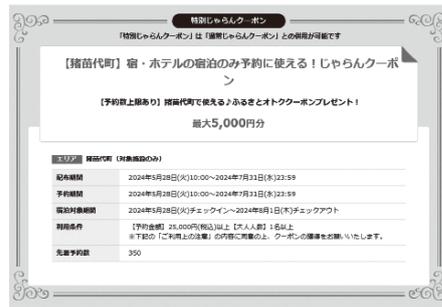
【質問】スキー部に力を入れて募集することも有効ではと考えるが、それにはコーチや指導者の確保が必要では。

【教育長】どの指導者がその学校にいるかによって、生徒はかなり違うと思う。これは県の人事なので、高校を通して私からも、そういう生徒が猪苗代町で活躍してくれるような先生方を、ぜひ猪苗代高校に来て頂くようにお願いしたい。



全国募集で期待される猪苗代高校 (猪苗代高校HPより)

Q. インターネット宿泊クーポンの効果は
A. 約10倍の経済効果だった



効果的だった宿泊クーポン

【質問】来年の4月からまたキャンペーンが開催されるがどのような準備をしているのか。

【商工観光課長】大規模な観光誘客キャンペーンであるので、多くの波及効果が実感できるように、観光協会をはじめ民間事業者の方にもご協力いただき、アイデアを頂きながら官民一体となって取り組んでまいりたい。

【質問】継続的に観光客を誘客できる取り組みを考えているのか。

【商工観光課長】2次交通の整備や体験、観光スポットなどのコンテンツの支援、それらを積極活用するための地域旅行者の育成など、選ばれた観光地づくりを目指した間接的な支援策を多く実施していきたい。

あらまし
決算状況

予算決算審査特別委員会
決算の意見

予算決算審査特別委員会
議案審議

人事案件・各議長杯の結果
一般質問目次

一般質問

委員会レポート



あんざい 安齋 ひろあき 浩明

質問者の動画
が見られます



Q. 農業の振興対策は

A. 人材確保につなげる農業体験会を開催

【質問】担い手や新規就農者の確保対策は。

【農林課長】猪苗代町第7次振興計画の目標を達成できるような新規就農者は、毎年1人ずつ増やすように力を入れる。また、認定農業者は、179人を維持できるように取り組む。

【質問】県農業経営・就農支援センターとの連携は。

【農林課長】本年6月に、新規就農希望者1名が就農支援センターに相談し、町内の研修機関で研修を開始している。

【質問】将来の担い手は、農業生産法人等の団体を推奨しているのか。

【農林課長】大多数が個人農業者である。個人農業者が持続的に農業を営むことができるための支援をしっかりと進める。

【質問】新規就農者の確保は、プロジェクトチーム等を編成し、人口減少対策等と連携して強力に推進すべきでは。

【農林課長】選択肢の一つであるが、まずは、移住定住の所管課である商工観光課と連携を強化していく。

【質問】農業者の所得向上対策は。

【農林課長】所得安定対策として、国が直接支援する制度がある。これについては、本年5月に各集落の集落支援員に対して説明会を開催している。



中学生の農業体験

【質問】来年に向けた町独自の補助金、助成金の新たな施策は。

【農林課長】町独自の事業でパイプハウスリース事業を継続する。また、新規の補助事業は、県の動きを見ながら検討する。

Q. 防犯対策の強化は

A. 広報紙や町ホームページを充実

【質問】犯罪情勢を踏まえ、今後の防犯対策は。

【総務課長】警察署や地区防犯協会連合会等の関係団体と連携し防犯対策の強化を図る。

【質問】防犯対策として、町が毎年最低一か所防犯カメラを設置しては。

【総務課長】町の管理する公共施設へは、修繕時期や改修時期のタイミングで設置する。

【質問】最大の補助金等を活用できるような細やかな支援が必要では。

【農林課長】積極的に農業者に情報提供する。また、申請書類等についても職員がきめ細やかな対応に努める。

【質問】県警察では街頭防犯カメラ設置補助金を開始したが、町でも費用を補助すべきでは。

【総務課長】町補助金等適正化委員会の意見をふまえて検討する。

福島県警察 街頭防犯カメラ設置補助金

福島県警察では、地域の安全・安心をより一層確保するため、街頭防犯カメラによって構成された街頭防犯カメラ設置補助金を活用する防犯カメラ設置の一環を支援します。

- 補助対象** 1団体につき上限50万円
- 補助期間** 総額（総数量）の2分の1以内 ※1,000円未満の単位で申請
- 対象団体の種類** 地域住民で構成される自治組織（町内会、自治会、組合等）
- 対象経費** 防犯カメラの購入、設置費用
設置を示すプレートの購入、設置費用
- 【注意】** 電線沿いの電線杆や電柱等に設置の取扱いをしません。
- 対象カメラ** ・各型犯罪を防止する目的で設置するもの
・特定の場所に継続的に設置するもの
・録画機能があるもの
・撮影された画像のうち、道路、公園その他の不特定多数の者が利用する場所の画像が2分の1以上であるもの

問い合わせ先 福島県警察本部 生活安全課
電話 024-622-2161

カメラ補助申請概要



ながとも 長友 ひろむ 海夢

質問者の動画が見られます



Q. 8月7日の豪雨災害の復旧状況は A. 国や県と協議しながら復旧

【質問】今後の復旧は。

【農林課長】土石流の発生源が磐梯山山頂下の国有林野内の沢であることから、会津森林管理署と協議を進め復旧を検討したい。

【建設課長】二次災害の発生が懸念されるため、関係機関と協議を重ね対策を講じたい。

【商工観光課長】閉鎖中の登山口は復旧の見通しが立っていない。点検登山を実施し安全対策を講じたい。

【質問】新たな危険個所の状況把握は。

【総務課長】改めて危険箇所について情報を共有し、被害の未然防止や軽減に努めたい。

【質問】人口減少が進み、自力での復旧が困難な集落ができることが予想されるが町の考えは。

【総務課長】集落において、用水路等を管理される方が限られてきている状況にあると認識している。次年度には内水氾濫解析を行いハザードマップの作成を検討しており、浸水被害の軽減、最小化に繋がるよう、ソフト面の対策にも努めたい。



町中にある用水路の様子

Q. 移住定住の促進マニュアルの整備は A. ケースバイケースで行いたい

【質問】移住者の受入に向け、各集落との協力体制の構築は。

【商工観光課長】移住定住のサポーター制度の創設を検討している。

【質問】受入に協力的な集落に対し、支援金を交付するような制度整備の考えは。

【商工観光課長】集落の維持発展に繋がる施策を検討して参りたい。

【質問】サポーター制度はどのような体制で導入・運用される予定か。

【商工観光課長】町単独ではなく民間事業者と連携した体制づくりを検討している。

【質問】本町出身の若者へのUターン移住の施策は。

【商工観光課長】移住定住のパンフレット等を配布するなど、取組を実施して参りたい。

【質問】若者が働きたいと思える企業の誘致は。

【商工観光課長】現状そういった企業の調査は実施できていない。若者が地元に戻り仕事をしたいと思える仕掛けづくりを実施したい。

【質問】移住を検討中の若者と後継者のいない地域事業者とのマッチングは。

【商工観光課長】地域おこし協力隊員を募集し、後継者問題の解決に取り組むたい。



移住定住パンフレット



ほしの
星野 あけみ

質問者の動画
が見られます



Q. 避難所の暑さ対策は万全か
A. 冷房機材の充実に努める

【質問】8月7日、大雨によ

り避難所が開設された。
避難所の暑さ対策は。

【総務課長】避難所となった
農村環境改善センター
は事務室以外エアコン
は設置されていない。

避難所開設の際は、
スポットエアコン4台、
サーキュレーター10台、
大型扇風機3台を備え
活用することとしてい
る。

【質問】夏場も安心して避難
できるようクーラー設
置の考えは。

【総務課長】財源を伴う工事
となるため、施設管理
者、関係課と協議を進
め、災害時にも使える
対応が取れるか協議し、
今後検討していく。

【質問】ペット同伴避難所の
開設の考えは。

【総務課長】災害時には、ペ
ットと一緒に避難する
同行避難を推奨してい
る。ペットがいること
から車中泊を選び、エ
コノミークラス症候群
を引き起こすこともあ
り、同伴避難所を設
置している自治体もある。
現在のところは、避
難所出入口付近で個別
に管理をお願いしてい
る。今後は災害時のペ
ット対策に努める。



安心して避難できる対策を

【質問】自主防災組織の取り
組みが共有できるよう
情報発信の考えは。

【総務課長】本年3月に西館
地区で地区防災計画を
策定し、先進的な取り
組みをしている。
国・県の支援事業な
ど、出前講座やあらゆ
る機会に周知を行い、
継続的に地域防災の充
実強化と防災意識の高
揚に努める。

Q. 地域における体験交流の考えは
A. 様々な施策を検討する

【質問】農業体験は、農業従
事者との交流や情報交
換が図られると考える。
今後の取り組みは。

【農林課長】本年度から農業
体験会を実施している。
農業を知ってもらい、
交流を通じて農業を支
える人材の確保につな
げる。

来年度以降も農業体
験を開催し、多くの方
に農業に触れていただ
く機会をつくっていく。





いがらしみえこ
五十嵐ミエ子

質問者の動画
が見られます



Q. ごみ減量事業は

A. 今後も減量化に本気で取り組む



補助対象のコンポスト

【質問】循環型社会を目指す立場から燃やすごみを少なくする取組が重要と考える。家庭から出る生ごみの減量事業の取組の現状は。

【町民生活課長】ごみ減量化を積極的に推進していただくため、都市計画地内の用途地域を中心に、現在22地区の生ごみの回収を行っている。毎年約100トンの生ごみを優良堆肥製造施設に搬入し、堆肥化を行っている。生ごみを自己処理する機器等を購入、設置する方には、購入費用の補助を行っている。

【質問】補助金の内容は。

【町民生活課長】補助対象の項目は3つある。①生ごみ処理容器設置事業（コンポスト1世帯2個以内）1個当たり上限3千円。②生ごみ処理密閉容器設置事業（EMボカシ1世帯4個以内）1個当たり上限1000円③電動式生ごみ処理機設置事業（1世帯1台）限度額2万円。

【質問】生ごみの処理の考えは。

【町長】家庭で処理できる生ごみ処理機の需要が高まっており、今後の補正におきまして、補助金の増額をお願いしている。

Q. 学校給食での地元産食材利用は

A. 地元農産物を使えるよう取り組む

【質問】本町の利用割合は。

【教育総務課長】町内の小・中学校の給食は、全て猪苗代産のお米、「天のつぶ」を利用している。野菜などの活用状況は、福島県教育庁からの照会に基づき調査を行っており、令和6年6月は約36%、令和5年6月は約49%、令和4年6月は約36%、5%。令和6年6月の結果が低かった理由は、価格や流通面から食肉や卵製品の県内産品が利用できなかったと考える。

【質問】米飯給食の現状は。

【教育総務課長】令和5年度の実績米飯給食は週に3.8回、年間154回で、全体の約8割の状況である。

【質問】今後、米飯給食の回数を増やすべきと考えるが。

【教育総務課長】食の多様化ということもあるので、これ以上割合を増やすことは現在のところは考えていない。

【質問】今後の地元産食材利用の考えは。

【町長】地域の活性化、さらには農業の振興につながる循環が生まれてくれば良いなというふうに考えている。





せきざわ 関沢 和人

質問者の動画
が見られます



Q. 町長の観光振興対策は

A. 観光スポットをよく考えて振興を図っていく



観音寺川の桜

【質問】 入り込み数の現況は。

【町長】 コロナ禍以前の観光客数には戻っていない。

【質問】 さくらの里構想は。

【農林課長】 平成12年度に町内に桜1万本を植栽することを目指し、さくらの里づくり事業として取り組みを始めた。

平成12年度から平成26年度までに約7千本の桜が植栽された。

【質問】 特に観音寺川の桜についてどう捉えているのか。

【商工観光課長】 今年度約3万人来町され代表的なスポットと考える。

【質問】 地元の人たちが桜を守り、維持管理を行っている。補助すべきと思うが。

【商工観光課長】 支援を実施していきたい。

【質問】 亀ヶ城の桜、鶴峰城の方にも植栽できないか。

【建設課長】 植栽が可能であるか、関係機関と協議したいと考える。

【質問】 亀ヶ城の桜、鶴峰城を経由して土津神社への観光ルートを作るべきと思うが。

【商工観光課長】 モデルルートの一環として考える。



国指定文化財を目指す亀ヶ城

Q. 歴史、文化を活かした観光、教育は

A. 官民一体となった町づくりを目指す

Q. 人口減少の対策は

A. 喫緊の重要課題である

【質問】 人口減少対策の状況は。

【企画財務課長】 6つの重点プロジェクトを定め、人口減少の克服と地方創生に特化した施策を行ってきた。子育て支援として認定こども園待機児童ゼロ、小中学校給食費医療費無償化、出産手当の増額に取り組んできた。

【質問】 移住定住対策の専門窓口はあるのか。

【商工観光課長】 職員1名、地域おこし協力隊1名の2名体制で窓口設置している。

【質問】 職員だけでなく、民間にも委託する考えは。

【商工観光課長】 サポーター制度の構築について実施する。



やまうち 山内 こうじ 浩二

質問者の動画
が見られます



Q. 医療費の負担軽減は A. 任意接種助成を検討する

【質問】コロナ感染者状況と
取り組みについて伺う。

【保健福祉課長】感染症法上
5類になったことによ
り町内感染状況把握は
していない。今後は対
策について広報等で周
知していきたい。

【質問】コロナ検査、医療費
等の医療費助成は。

【保健福祉課長】公費負担は
終了しているが五類感
染症の感染力は変わら
ず検査治療に対する公
費負担要望があり町と
しても国、県の動向を
見て今後対応する。ま
た高齢者、一定の障害
者については、10月か
らの定期接種は国と町
から医療助成する。

【質問】おたふく風邪感染対
策、医療費助成は。

【保健福祉課長】現在は任意
での接種になっている
が、県内市町村の多く
が助成している。今後
情報収集に努め助成の
必要性について検討す
る。

Q. 教育相談体制の充実 A. 保護者との信頼関係構築に努める

【質問】小、中学校の不登校
状況は。

【教育総務課長】小学校令和
6年度6名、中学校令
和5年度34名、6年度
15名。

【質問】いじめ防止基本方針
策定と未然防止取り組
み状況は。

【教育総務課長】いじめ防止
基本方針は毎年策定
ホームページにて公表。
授業や学校行事に参加
できる授業づくり、い
じめをしない許さない
雰囲気づくり、情報モ
ラル教育を実施。

【質問】保護者との関係、不
登校児童へのケアと体
罰防止等の教職員研修
実施状況は。

【教育総務課長】学級担任に
よる電話、家庭訪問実
施、ケアについては、
学級担任による個別支
援、教育相談、スクー
ルカウンセラーによる
支援に努める。教職員
研修は定期的に服務倫
理委員会を開催して研
修を行っている。

【質問】移住体験お試し住宅
が必要。検討は。

【町長】お試し住宅は、非常
に有効な手段だと考え
る。

移住については、非
常に重い決断があつて
のことですので、本町
への移住を考えている
方の背中をしっかりと押
せるような支援をして
いく。

また、移住支援金、
公的な制度面の充実、
お試し住宅についての
必要性、有効性をよく
検討してまいりたい。

Q. 移住支援促進は A. 移住支援やサポート体制構 築に取り組む





たきた かつあき
瀧田 勝昭

質問者の動画
が見られます



Q. 人口減少に伴った人材確保は A. 地域を担う人材の育成を行う

【質問】地域課題の現状での把握方法とその共有は。

【企画財務課長】地域課題の把握は、行政区長や町民の方から直接お伺いするほか、各要望などの方法で把握している。住民との情報共有は、各課の事業を文書の一方的なご通知になる場合が多く、問合せがあれば、地区の説明会など、その状況により情報共有に努めている。

【質問】後継者がいなければ人口減少し、基盤産業が衰退していく、町としての対策は。

【企画財務課長】地域の農業者も含め、皆様にしっかりと意見を伺って、その対策を一つでも進めていけるように努めてまいります。



購入された（汎用）コンバイン

【質問】人が人を支援するところが、基礎自治体の役割、財政支援を伴わない町民への支援の考え方は。

【町長】一人一人が主人公というのには、その立場で町の町政に関わり、進展させるかを考えて行動してもらうことが目標で、それぞれが幸せになる社会である。町民と目線を合わせ、対話をしながら、まちづくりを進めていきたい。

Q. リサイクル率の向上は A. 集団資源回収を全地区で実施



ごみリサイクル
イベント回収

【質問】ごみ減量の取組の現状は。

【町民生活課長】県内市町村で、10番目に多いという状況である。家庭系ごみは減少したが、事業系ごみは、新型コロナウイルス感染症後の緩和による回復があると捉えている。リサイクル率では15.9%ということで、県内で、上から数えての10番目ということ、いいほうになる。

【質問】ごみは住民の努力があつて減っている。その情報を住民の方と共有して、さらなる減量に努めるのか。

【町民生活課長】広報で、1ページ程度、毎月ごみの関係について掲載する考えである。今後、町政出前講座を実施するとともに、リーダー的な育成も検討しながら、様々な機会を捉えて、ごみ減量に向けた啓発活動を実施していきたい。

会津若松地方広域市町村圏整備組合

令和6年8月議会定例会

8月9日から8月22日に定例会が行われました。

管理者提出案件として、条例案件2件、予算案件2件、契約案件1件、単行案件1件、報告案件3件、承認案件2件の11件、議会提出案件として、報告案件1件が審議され、すべて全会一致で可決されました。

条例案件では、持続可能なごみ処理体制の構築及びごみ処理料金の適正化を図るため、所要の改正措置を講じようとするものであり、一般廃棄物の燃やせるもの10kg処理料金、現行80円を120円に。

一般廃棄物燃やせないもの10kg現行料金170円を260円に。

産業廃棄物燃やせないもの10kg現行料金270円を350円に改正を行うものであり、令和7年4月1日から施行するものです。

令和6年度一般会計補正予算は、歳入歳出ともに増額し、総額120億4364万9千円となりました。

【お詫び】175号の記事訂正について

下記について誤りがありました。お詫びして訂正いたします。



P20 (裏表紙)

誤

正

左から

- 小林 優吾 選手 (男子ダブルス)
- 保木 卓朗 選手
- 大堀 彩 選手 (女子シングルス)
- 渡辺 勇大 選手 (混合ダブルス)
- 東野 有紗 選手

左から

- 小林 優吾 選手 (男子ダブルス)
- 保木 卓朗 選手
- 東野 有紗 選手 (混合ダブルス)
- 渡辺 勇大 選手
- 大堀 彩 選手 (女子シングルス)

P10

誤

正

【質問】将来的に消滅の可能性がある
【商工観光課長】

【質問】将来的に消滅の可能性がある
【町長】

P13

誤

正

【質問】本町の負担額は。
【町民生活課長】

【質問】本町の負担額は。
【企画財務課長】

レポート

総務文教常任委員会

防災・減災対策と移住定住の取り組み

〔概要〕

〔新潟県十日町市〕

雪害地帯であり、平成16年、19年、23年に大きな地震に見舞われた。これらの経緯から地域の防災力アップを目指すため、防災基本条例を制定し、「自助」「共助」「公助」の理念の下、災害に強い町づくりを進め、徹底した自主防災組織の育成を行ったため、組織率は98.9%となった。

〔新潟県津南町〕

移住を希望する方々への相談窓口として移住コーディネートターを任命し、移住に関する様々な相談を受けている。内容は住宅や就職、子育て、雪かき、地域活動など移住前の心配事や移住後の相談など多岐にわたる。特に豪雪地域であるため、移住前に冬の生活に對し十分理解頂くよう案内している。

〔新潟県湯沢町〕

子育て世代に様々な補助を出すことで移住者が増えてきている。また、リモートワークの定着などの社会情勢変化により、新幹線利用による都市部への短時間移動の立地条件がマッチしたことも要因である。

〔意見〕

自主防災は、積極的に各行政区に呼びかける必要がある。特に、学校、福祉施設においても防災に対する準備を行うべきであり、災害発生時の応急対応として、民間団体等との協定も必要だと思われる。

移住定住には、マンパワーが重要だと感じた。本町は以前から、自然に魅了されて移り住む方々を受け入れてきた。しかし、人口減少に歯止めがかからないのは、現状の分析やソフト面のサポートが不十分であるからと考えられる。ぜひ中心となつて移住定住を進めることができる人材の育成や、係の新設が必要だと思われる。



新潟県湯沢町での視察

経済厚生常任委員会

子育て共助のまちづくり・移住定住

〔概要〕

〔富山県舟橋村〕

全国で最も面積が小さい自治体。近年では富山市のベッドタウンとして人口、世帯数ともに大幅に増加している。子育て共助のまちづくり事業として、認定こども園、公園、子育て賃貸住宅を同じエリアに整備した。

〔石川県津幡町〕

移住定住に関する専用のポータルサイトを開設し、住宅等の補助金や子育て支援等の情報の一元化を図っており、実際の移住者の声を動画で発信している。近年ではSNSを活用したターゲットインング広告も実施しており、効果を上げていく。

〔石川県能美市〕

1週間無料で移住体験できるお試し住宅を整備し、民間企業が移住コーディネートターとして、官民一体となった支援を行っている。

〔意見〕

舟橋村では、子どもたちが主体となり、地域の方々との公園づくりを通じた賑わいを創出している。地域のコミュニティを中心にしたまちづくりが重要である。

津幡町では、パンフレットの内容が他市町村と比較して、より効果的だと実感する。移住者以外の居住者が住宅を取得する上での補助金もあり、町外流出をさせない取り組みは本町でも重要である。

能美市は、移住の窓口や担当者も専任とすることで、移住者の悩み等も相談しやすく、移住希望者にもメリットがある。お試し移住についても空き家の活用が図られ、施策として有効だ。

先進地の事例も取り入れ、差別化を図りながら、町の魅力を向上させ、「住み続けたい」と思えるような環境づくりとこれからの施策に取り組んで頂きたい。



能美市駅前にある移住体験施設「大成の家」

広報広聴常任委員会



編集では見出しや写真・図表を用い、平易で丁寧な言葉づかいに心がける。

8月7日、町役場3階で農業委員との一般会議を行い、

伝えると伝わるはイコールではない。議会を見える化する事によって読まれ、伝わる広報紙となる。

町村議会広報研修会

7月2日、とうほう・みんなの文化センターでの議会研修会に参加した。

全国広報コンクールの審査員などを務める芳野政明氏を講師に迎え、「議会の“見える化”&住民との“信頼関係”議会広報の基本と編集」と題し研修が行われた。

一般会議



した。

農業の置かれている状況や課題など、農業を守るための意見・要望を頂きました。

寄せられた多くの意見は、一般質問等で町に声を届けました。

一般会議は、議会基本条例に基づき開催するものです。町民5人以上であれば申し込むことができます。

詳しい内容・申し込み等は議会事務局までお問い合わせください。

会津耶麻町村議会議員研修会

10月4日、西会津町で議員研修が開催され、「地域の現状と福島県会津地方振興局の取組について」を演題に受講しました。

西会津町・磐梯町・北塩原村との研修会はとても実りあるものでした。



伊那市・猪苗代町親善交流20周年事業

9月22日、長野県伊那市（旧高遠町）と猪苗代町の親善交流20周年記念式典が学びいなで行われました。

式典後、会津松平家当主松平保久氏による「高遠藩と会津藩～保科正之公が紡いだ絆～」と題した講演やパネルディスカッション、祝賀舞踊が披露されました。



わたしたちの町

～猪苗代町の地域探究活動～



あへ 阿部 ひなた 日向 さん（猪苗代高等学校）

猪苗代高校では、地域探究活動が積極的に行なわれています。

探究活動の活動内容は多岐に渡りますが、私は郷土史をテーマとした歴史班に所属し、書籍やインターネットを活用しながら猪苗代町の歴史について理解を深めています。



とくに亀ヶ城の堀跡についての探究活動では、実際に現地周辺を歩いてみることで多くの発見がありました。また、猪苗代町には私たちがまだ知らない魅力がたくさんあることも、活動を重ねるたびに気付かされます。来る十一月二日（土）、猪苗代高校では「学びの収穫祭」が開催され、私たちの地域探究活動の成果を披露します。私は歴史班で土器作り体験を行う予定です。地域の皆様にも楽しんでいただきたこの是非おこしいたれ。

議会報告会を開催します

1. 日時 令和6年11月15日（金）
午前10時～11時30分
2. 場所 学びいな 研修室 D、E
3. 内容 9月定例議会について
意見交換

※どなたでも参加できます
ぜひお越しください。

傍聴においで下さい

12月議会は 12月3日(火曜日) 開会予定です。

【一般質問予定日：9日(月)・10日(火)】

※質問者・質問内容については11月28日以降に町のホームページに掲載します。また右施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

今号の表紙

日頃の練習の成果を発揮した、2校での野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭

編集後記

議会だよりをご覧いただきありがとうございます。令和5年12月議会にて議会基本条例を制定いたしました。現在、議会基本条例の制定を契機とした議会改革を進めています▼議会改革の目標である「開かれた議会」の実現に向けて議会報告会・一般会議（意見交換会）の開催などさまざまな取り組みを進めています▼議会だよりも議会改革につながる議会からの情報発信の紙面でもあり、みんなで、町民の皆さまに親しまれ読まれるための工夫などを行い、さらなる向上を目指していきたいと考えています。

五十嵐ミエ子

広報広聴常任委員会

(広報担当)

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 星野あけみ |
| 副委員長 | 五十嵐ミエ子 |
| 委員 | 長友 海夢 |
| 委員 | 鈴木 元 |
| 委員 | 渡部 一登 |
| 委員 | 瀧田 勝昭 |
| 委員 | 長澤 操 |
| 委員 | 安齋 浩明 |